

# ひびき

## 取手市議会だより中学生版

2017（平成29）年1月13日発行

<紙面から>

取手二中3年生と取手市議会合同による「議会を知り・未来を語る」議会が、12月19日開催されました。

当日は、3年生代表20人が6つの会派を結成し、学年内で選ばれた提案を取手市議と共に話し合い、これを議場に議案として提案。6つの議案のうち4つが賛成多数で可決し、取手市議会議長に手渡されました。

可決した4つの夢ある提案は、今後、取手市議会の中で調査研究していきます。議長は誰が選挙されたのか？そして、どんな提案があったのか？見てみましょう…。

発行・編集責任者／取手市議会議長 佐藤 清  
発行／取手市議会 編集／取手市議会事務局  
〒300-8585 取手市寺田 5139／電話 0297-74-2141（内1801）

### 議会を知り・未来を語る 取手二中3年生&取手市議会

12月9日、議会での提案発表前に、議会の仕組みや三権分立など、社会科授業の一環として、取手市議会事務局職員が取手二中体育館に外部指導者として招かれました。

当日は、パワーポイントを用いて「議会ってなんだっぺ？」「取手市議会の議員定数は？」など笑いを交えて説明するともに、12月19日の取手市議会議場で行う「議会を知り・未来を語る」提案発表に向けて目的などを説明しました。

また、授業の最後には、佐藤 清議長、染谷副議長はじめ議会運営委員から提案への期待を込めたメッセージビデオを流すと、生徒からは「オオ〜」という声があがりました。



メッセージビデオの1コマ

### 二中代表生徒が 取手市議とグループワーク

取手二中3年生の代表20人が、緊張の面持ちで取手市役所議会棟に来庁。迎える取手市議会議員も普段と違う空気に、同じく緊張の面持ち…。

会議室に拍手で生徒をお迎えし、各グループに分かれての自己紹介。議員は「自分が中学生のころは…」の話から次第に会議室の空気が和み、時折、笑いも聞こえる温かさに室内が包まれました。

自己紹介の後は、各クラスの提案を議員と共に協議し、生徒からの提案を尊重しつつ、議員ならではの切り口で、より提案を夢あるものとしていきました。



### いけながこうき 池長光紀君が臨時議長

議長を選挙するまでの間、出席議員の最年長者が「臨時議長」を務めることが決められています。

最年長議員は池長君。江角議会事務局長の紹介によって、議場全体を見渡せる議長席に池長君が着席。池長臨時議長の下、議長選挙を行いました。



→緊張の中、議長席に着く池長君。

### 議長候補者による所信表明

最初に、議席番号の若い蛭原ひなのさんの所信表明。「私が議長になったら、円滑に進め、皆さんが思っていることをはっきりとできるような空気を作り出すことを絶対にお約束します。」と身振り手振り、原稿なしで力強く自分の思いを述べました。

続いて、石引向日葵さんの所信表明。「これからの取手市のよりよい未来を考え、市民の皆様にとって公平で公正な議会を運営します。」と一言一言しっかりと所信を表明しました。



→上段写真は蛭原ひなのさん。下段は石引向日葵さん

# 議長に石引向日葵さん



→投票用紙を受け取ります

→投票箱を確認します

投票の結果：

石引向日葵さん17票

蛭原ひなのさん 3票

→ 蛭原ひなのさんが議長に就任しました。

開票結果が池長臨時議長から報告された際、惜しくも当選できなかった蛭原ひなのさんが、笑顔で拍手している姿は、とても印象的でした。最後の佐藤 清議長からの講評の際も、このことに触れられ、多くの議員も同様に感じていました。



→議長選挙の様子

→会派代表者が開票の立ち会い

# 会派ごとに議案を提案

今回の議場提案の前に、まず、3年生全員が各クラスで9つほどのグループに分かれて提案を行いました。その後、各クラス生徒によって選出されたグループと学年推薦グループの計6つのグループが、学年代表として議場での提案を行いました。取手市議会には、理念や政策を同じくする「会派」が結成されています。これと同様に考え、各グループに会派名と会派代表者をあらかじめ決定しました。

## 取手良く党

会派代表：井上諒哉

会派所属生徒議員：池長光紀・蛭原ひなの・杉浦捺希

担当議員：岩澤 信・佐藤隆治・遠山智恵子

提出議案：議員提出議案第1号として「茨城国体が行われるまでに、人気の店やこれから話題になりそうな店（支店）を、駅周辺に出店を依頼して活性化させる。これが税収増につながる。」を提案。採決の結果、賛成多数で可決しました。



→取手良くする党

→取手バコ党

## 取手バコ党

会派代表：島田靖大

会派所属生徒議員：中川賢太郎

担当議員：池田 慈・落尾信太郎・入江洋一

提出議案：議員提出議案第2号として『2020年ころまでに「Children・プロジェクト」子どもが2人以上の家庭に補助金を生まれた時と2年に1回、2人目15万円。3人目

30万円。4人目以降50万円を支給する。また、「駅 Clean作戦」取手駅周辺の使われていない、また、外見が悪い所を取手市が買い取り、そこを送迎に使う無料の駐車場や店をつくる。「商店街の復活」白山商店街を復活させ、さらに店数を増やし、別の場所にも増やし、土・日に歩行者天国にする。「観光資源のPR」利根川でのサケの放流を全面的にPR。市内にある全ての神輿を集約させる祭りを開催。「大型ショッピングセンター」市外からたくさんの方が来てくれるようにイオンなどの大型ショッピングセンター及び遊園地を郊外につくる。』を提案、採決の結果、残念ながら賛成少数で否決となりました。

## USJを愛する会

会派代表：芳賀爽平

所属生徒議員：石引向日葵・竹井優佳・登坂玲央

担当議員：小堤 修・小池悦子・齋藤久代・佐藤 清

提出議案：議員提出議案第3号として「2020年までに、空き店舗を活用して集客設備を作る。電車の始発前と終電後にバスを運行する。子ども（子ども連れ）が遊べる施設を建設する。」を提案。採決の結果、賛成多数で可決しました。



→とりでを愛する会

→平和を愛する会

## 平和を愛する会

会派代表：下村睦実

会派所属生徒議員：須田深稚・滝浪真唯・平畑 力

担当議員：石井めぐみ・染谷和博・結城 繁・吉田 宏

提出議案：議員提出議案第4号として「できるだけ早いうちに、家族連れの人の住みやすい町にするため子どもがいる家庭は様々な場面で免除・割引をされるようにする。子どものいる家庭を減税の対象にし、子育て家庭が取手市に引越してくることをねらう。」を提案。採決の結果、賛成多数で可決しました。

## 取手改新党

会派代表：司子晴登

会派所属生徒議員：秋山朱音・鈴木百花

担当議員：竹原大蔵・赤羽直一・加増充子

提出議案：議員提出議案第5号として「なるべく早く実行しやすい順に、河川敷の開発（花火大会を四季に行う・花火大会時、取手市の特産ビール屋形船を運航・取手市の野菜を使ったバーベキュー施設、国道6号線沿いに道の駅をつくり地元商品販売。（カップ麺などの当たりつき自販機も置く）、取手駅やリボンとりでの上の階に保育施設をつくる。」を提案、採決の結果、残念ながら賛成少数で否決となりました。



→取手改新党

→2MEN2WOMEN

## 2MEN2WOMEN

会派代表：小川華純

会派所属生徒議員：式田健生・和田萌花

担当議員：関川 翔・渡部日出雄・阿部洋子

提出議案：議員提出議案第6号として「1、2年で高齢者対策、地産地消のため、移動スーパーを行い、買い物に行くのが不便な人々に取手市でつくられた農産物も販売する。」を提案。採決の結果、賛成多数で可決しました。

# 表決システムを用いて採決

生徒議員からの提案説明後、石引生徒議長の下、採決を実施。「税収のことを考えると賛成できなかった」など、一つ一つの

議案に生徒議員が真剣に賛否をあらわしていました。残念ながら  
ら否決の議案もありましたが、これぞ議会！を感じさせられる  
瞬間でした。



→賛否が拮抗した案件が多数ありました

## 石引議長から可決議案を提案

可決した4件の議員提出議案は、石引生徒議長から佐藤清  
取手市議会議長に手渡されました。  
提案された議案は、今後、取手市議会の中で調査研究し  
ていきます。



## 佐藤清議長から講評

佐藤 清議長から生徒議員に対し、講評を行いました。佐藤  
議長からは「本日はいただいた提案は、今現在、取手市が抱えて  
いる課題と同じように感じた。2019年の茨城国体までや2  
020年の東京オリンピックまでなど、期限を定めたことほと  
も素晴らしいと感じた。提案されたものは、今後、しっかりと  
市議会の中で審議し、一日も早く実現できるように努力してい  
ます。」と述べられました。

## 石引議長号令の下あいさつ

石引生徒議長の閉会宣言後、「生徒一同起立」の号令の下、議  
長席を降り生徒議員の中心へ。生徒議員も、市議会議員も議場  
内の全員が起立し「ありがとうございます」の石引生徒議長  
のあいさつに、皆が「ありがとうございます」の声と拍手が  
響き渡るとともに、ホッとした安堵の表情と満面の笑みで議場  
内が包まれました。



最後に、参加者全員で集合写真です。取手第一中学校の野口  
校長も傍聴席から生徒議員の様子を見学していました。記念写  
真では傍聴席センターでバッチリです！

### 取手二中3年生 & 取手市議会合同企画「議会を知り・未来を語る」の議決結果

整理番号	議案名称	議決結果	賛否数		生徒議員名及び賛否の別																		
					取手良くなる党				取手パコ党		とりでを愛する会			平和を愛する会			取手改新党			2MEN 2WOMEN			
			賛成	反対	池長光紀	井上諒哉	蛭原ひなの	杉浦捺希	島田靖大	中川賢太郎	石引向日葵	竹井優佳	登坂玲央	芳賀爽平	下村睦実	須田深稚	滝浪真唯	平畑力	秋山朱音	司子晴登	鈴木百花	小川華純	式田健生
議員提出議案 第1号	取手良くなる党 提出議案	原案可決	11	8	○	○	○	○	○	×		×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○
議員提出議案 第2号	取手パコ党 提出議案	否決	5	14	×	×	×	×	○	○		×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×
議員提出議案 第3号	とりでを愛する会 提出議案	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案 第4号	平和を愛する会 提出議案	原案可決	10	9	×	×	×	×	×	○		×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議員提出議案 第5号	取手改新党 提出議案	否決	9	10	×	×	×	×	×	×		○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×
議員提出議案 第6号	2MEN 2WOMEN 提出議案	原案可決	16	3	○	○	○	○	○	○		○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○

「○」は賛成、「×」は反対を表します。  
議長には「表決権」がないため表決には加わりません。その理由は、可否同数となったとき、可決・否決を裁くための「裁決権」を持っているからです。

## 【参加生徒コメント】

**池長光紀君**：初めて体験したことなので、とてもやりがいのある仕事でした。また、皆の意見を聞き、取手市に様々な課題があったので、これから解決していけたらよいなと思いました。

**井上諒哉君**：私は会派の代表を務めさせていただきました。少しでも、この取手市をよくするために自分達の意見を発表できて、とても充実した時間になりました。

**蛭原ひなのさん**：今回貴重な体験ができてとても勉強になりました。また、取手市がどうすればよりよいものになるか他の班の意見を聞いて、とても充実した時間でした。

**杉浦捺希さん**：初めての議会の体験で、とても緊張しました。最初の話し合いでも緊張して、何回か途中でしまいました。自分たちの案が可決されたときは、とても嬉しかったです。

**島田靖大君**：議員の方々が、議会にどれだけ責任を持って臨んでいるのかが分かりました。この企画をこれからも続けてほしいと思います。

**中川賢太郎君**：この議会に参加してみて、取手市のために議員の方々がとても頑張ってくれているのだと感じました。議員の方々はとても優しくかったです。

**石引向日葵さん**：今回、取手市議会で議長を体験して、自らの意見を議員の方に伝えるための工夫や議会の運営の仕組みが分かり、とても良い経験になりました。

**竹井優佳さん**：初めて取手市議会に行き、驚いたことがたくさんありました。特に議席の椅子の座り心地のよさは忘れられません。実際に提案するとき緊張しましたが、貴重な体験でした。

**登坂玲央さん**：議会とは、僕がイメージしていたものとは全く違いました。もつと堅苦しいのかと思っていたけど明るい雰囲気でした。自分の班の意見に欠けているものも見つかりました。今回、議会に招いていただき、ありがとうございました。

**芳賀爽平君**：初めての市議会は、とても勉強になりました。他の党の意見を聞き、自分達の班にはなかったものも見つかりました。また、このような機会をつくってくれた市議会の皆さんに感謝したいです。この経験を生かし、自分にできることをしていきたいと思います。

**下村睦実君**：このとても貴重な機会を得て、とてもよい経験になりました。初めは緊張していたけれど、議員の方々はとても気さくで、一緒に話し合っ、最高の案ができたと思います。

**須田深稚さん**：議会では学校生活とはまた違う、特別な体験ができました。この経験をこれからもいろいろなところで生かしていけたら良いと思います。

**滝浪真唯さん**：とても緊張しましたが、クラスの代表として取

手市の未来をよくする案を議会で発表し、貴重で充実した時間を過ごすことができましたと思います。

**平畑 力君**：今回の「議会を知り、未来を語る会」に参加して、取手市を変えるという目的で、本物の議員の方々と共に活動ができ、とても良い体験ができました。

**秋山朱音さん**：自分の班の提言が可決されなかったのは悔しかったですが、授業で実際に体験できないことができました。

**司子晴登君**：このような体験をさせていただいて提案を考え、発表する力が必要だと感じました。提言が可決されず悔いが残りますが、議会の大切さを学ぶことができたと思います。

**鈴木百花さん**：実際に話し合ってみると、取手市の改善点や魅力などに気付くことができた良い経験になりました。自分達の案は可決されませんが、取手市の未来についての話し合いはとても有意義でした。

**小川華純さん**：学校の代表として議会に参加しました。取手市議会の方々に助言をいただけてつくり上げた議案は可決されました。未来の取手市に少しでも貢献できたと思います。

**式田健生君**：取手市議会議員の方と取手市について話し合い、取手を活気のある市にすることをみんな目指していることを知ることができました。

**和田萌花さん**：今回の「取手市の未来を語る会」に参加することで、今まで考えていなかった取手のことを改めて考えることができました。貴重な体験をありがとうございました。

## 【先生コメント】

**野口清貴校長**：今回の取り組みは、教室だけでは学習することのできない貴重な体験でした。議員の皆さんの苦勞にも触れられた。将来、取手のまちづくりに実際に関わっていく生徒が活躍することを願っています。このような素晴らしい活動を企画した市議会議員、議会事務局の皆さんに心より感謝申し上げます。

**古谷雄治先生**：市議会議員の方々と同じテーブルで取手市の未来について語り合い、アドバイスをいただき、磨きのかかった提言を議場で議員になりきって提言や採決をした今回の貴重な体験は、教科書に出てくる「地方自治」を身近に感じることができました。

**岡野聖人先生**：授業での活発な質疑応答の様子にはながら小さな取手市議会のように、今回、議場に行った生徒も、行けなかった生徒も、議会の役割について考えるきっかけとなりました。貴重な機会を与えてくださり、感謝しています。

**会沢裕之先生**：今回、取手市議会議員の皆さんから生徒が考えた提言を実際の議会でも検討すると約束してくださいました。取手市をよくするために中学生の自分たちにもできることがあると実感できたことが、今回の一番の収穫です。初めて選挙す

るまであと3年の中学3年生。生徒たちはこの機会に政治に関心をもち、大切な一票を投じることができると信じています。

## 【市議会議員コメント】

**佐藤 清 議長**：生徒の提言は、現在、取手市が抱える課題を生徒の目線で調査研究、まちの活性化、少子高齢化をはじめ諸施策の提言をいただきました。市議会として実現に努めます。

**染谷和博副議長**：初めての中学生議会で私たちが皆さんより緊張しました。皆さんの議決が適切にされたと思っています。今議会で議決していただいた提案を1つでも実現できるように議会として努力してまいります。

**関川 翔**：取手二中の生徒や若い世代の思いを改めて知ることができた。引き続き若者世代のみならず、各世代の思いをしっかり受け止め、市政に訴えていきたいと思っています。

**竹原大蔵**：中学時代に還ったつもりで一緒にさせていただきました。あときの私と重ねて見たとき、周りの環境がいかに大事なものが改めて感じました。これからもいろいろな世界を見て、ご自身の世界観をひろげてほしいと願います。

**小堤 修**：真剣かつキラキラした眼差しで、取手市の現状と未来について考えている点、中学生の真面目さと発想の弾力性に感心するとともに、私も改めて気が引き締められました。

**小池悦子**：課題の着眼点が鋭く、改善策も明確で中学生らしい視点も新鮮で、前向きな提言がとても良かったです。私も心新たに、取手市のため、市民のためにがんばります。

**岩澤 信**：これからの未来を担う中学生の視点観点からの6つの議員提出議案は、まさしく取手市が抱えている課題であります。「議会を知り、未来を語る」いろいろな気づきがありました。

**落合信太郎**：未来を担う生徒からの提言は、新鮮で参考になりました。時間の都合かと思いますが、提案に対する質疑の時間もあれば良かったと思います。

**池田 慈**：中学生は大人が考えている以上に現実を知り、見ていると感じます。否決された提案もありました。いただいた提案は、議会への宿題と思えました。

**渡部日出雄**：今回の企画では現在の中学生が自分の住む市の課題をしっかりと認識しており、その解決策を具体的に持っていることに感心しました。

**石井めぐみ**：中学生が自主的に取手市の未来を考えることができ、現状や課題を認識したことが、これからの取手市の未来を担う若者たちも、また市も貴重な財産になったと感じました。

**吉田 宏**：今回の企画は、議員それぞれができることを、しっかりと議決することを、教えられたことが大きな収穫でした。

**入江洋一**：中学生の提案を聞いて第一に思ったことは、固定観念がなく素直で新鮮な考え。また、現在、取手市が課題として

いることが中学生と全一線で、私も初心に返って考え、行動していかなければならないと思いました。最後に、私たちのグループの提案否決はすこく残念でした。

**佐藤隆治**：6会派とも柔軟な発想で取手市の明るい未来を提言してくださいました。私たちが取手市議にも伝わりました。間もなく受験時期になりますが、ますます頑張ってください！

**阿部洋子**：今回の企画は中学生議員による6提出議案、そして担当のグループの提案に対し、できるだけだけの準備をして臨みましたが、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。新鮮な感動がありました。

**結城 繁**：我が母校の生徒さん達の取手市に対する真剣な思いを聞くことができてよかったです。やはり駅前の開発が重要と認識していることもわかりました。改めてしっかりと考えていきます。

**齋藤久代**：しっかりと調査し、鋭い感覚で市の状況を観察していることに驚き頼もしく感じました。若い方々の期待に応えられる魅力ある市の構築のために頑張りたい。

**赤羽洋一**：中学生の提言を聞き、取手市の現状や抱えている問題を的確に把握していることにまず驚きました。その上でのいろいろな提言をされ、それに対し厳しい表決をしたのには驚きました。素晴らしい中学生議員でした。

**遠山智恵子**：素晴らしい一言です。みんなが取手市を心配し、よく考えていることを知り、嬉しいです。各提言をしっかりと受け止め、はつきり意思表明している姿にも感心しました。取手の未来は明るいですね。

**加増充子**：初めての経験でしたが、本当に中学生の感性にびっくりしました。取手市の実態をよくつかみ、どうしていくのか私たち議員より鋭く見えていました。また議会においでください。



笑顔で健康に！目標に向かって頑張ってください！

取手市議会・取手市議会事務局一同